



令和4年12月13日 14時00分
近畿地方整備局足羽川ダム工事事務所

第22回 足羽川ダム建設事業推進協議会の結果概要について

足羽川ダム建設事業の進捗状況を議題として、協議会を開催しました。
協議会の結果概要は、別紙のとおりです。

<取扱い> _____

<配布場所>

福井県政記者クラブ

<問合せ先>

国土交通省 近畿地方整備局 足羽川ダム工事事務所	副所長	いとう 伊藤	まさし 昌資	TEL(0776)27-0642(代表)
福井県 土木部 河川課	参事	かわさき 河崎	てるよし 輝義	TEL(0776)20-0483
池田町 ダム対策室	室長	やまざき 山崎	まさみ 政弥	TEL(0778)44-8005

第 22 回 足羽川ダム建設事業推進協議会 結果概要

日 時：令和 4 年 12 月 13 日（火） 12:00～12:30

場 所：福井県庁 2 階中会議室

出席者：	近畿地方整備局	河川部長	こじま 小島	まさる 優
	福井県	土木部長	たかはし 高橋	のぶすけ 伸輔
	池田町	副町長	みぞぐち 溝口	じゅん 淳

【目的】

『足羽川ダム建設事業推進協議会』は、足羽川ダム建設事業及びこれに伴う水源地域対策について、国土交通省、福井県、池田町の三者が相互に連携・協力し、計画的な事業の推進を図るため平成 18 年 10 月 10 日の基本協定の締結をもって設置されたものである。

本日の第 22 回協議会は、足羽川ダム建設事業の進捗を議題として開催したものである。

【協議会要旨】

- 国からダム建設事業の進捗状況について説明した。
- 事業費及び工期について、今後国が精査を実施していくことについて確認した。

【協議内容】

〈足羽川ダム建設事業の進捗について〉

国からの報告事項

- ダム本体の基礎掘削が完了し、ダム本体のコンクリート打設の開始により、掘削量やコンクリート量が概ね把握できる段階になったこと、水海川導水トンネルが温見断層に到達したことから事業の全体像が概ね判明した。
- 公共工事関連単価等の変動や働き方改革関連法に基づく労働条件を考慮した適正な工期の確保など社会的要因の変化が発生している。
- 今後、コスト縮減等の工夫も含め、事業費及び工期について精査を進めていく。
- 事業進捗監理及びコスト縮減への取り組みについて、引き続き徹底を図る。

国からの報告事項に対する福井県の要請

- コスト縮減等の工夫も含め、事業費及び工期について精査を進めていくと報告を受けたが、事業費 1,300 億円の監理を徹底するとともに令和 8 年度の事業完成を求めたい。
- 社会的要因の変化が発生しているとのことであるが、今後事業費及び工期が変動するのであれば、その規模や要因を早急に示してほしい。
- 事業費及び工期の範囲内で計画的に事業が進められていることを確認するため、県との事業費等の情報共有を行う監理体制のさらなる改善が必要であり、具体

的な取組を求めたい。

国からの報告事項に対する池田町の要請

- 水海地区の分水堰工事に伴う濁水の防止など、環境への配慮は引き続き徹底して欲しい。
- 地域振興策は工期に関わらず計画通り着実な進捗をお願いしたい。

足羽川ダム建設事業推進協議会
＜第22回会議＞

令和4年12月13日（火）
12時00分～12時30分
福井県庁 2階中会議室

会 議 次 第

1. 開 会
2. 挨 拶
3. 議 事
 - (1) 足羽川ダム建設事業の進捗について（資料1, 2）
・・・・・・・・・・国交省説明
 - (2) その他
4. 閉 会

資料一覧

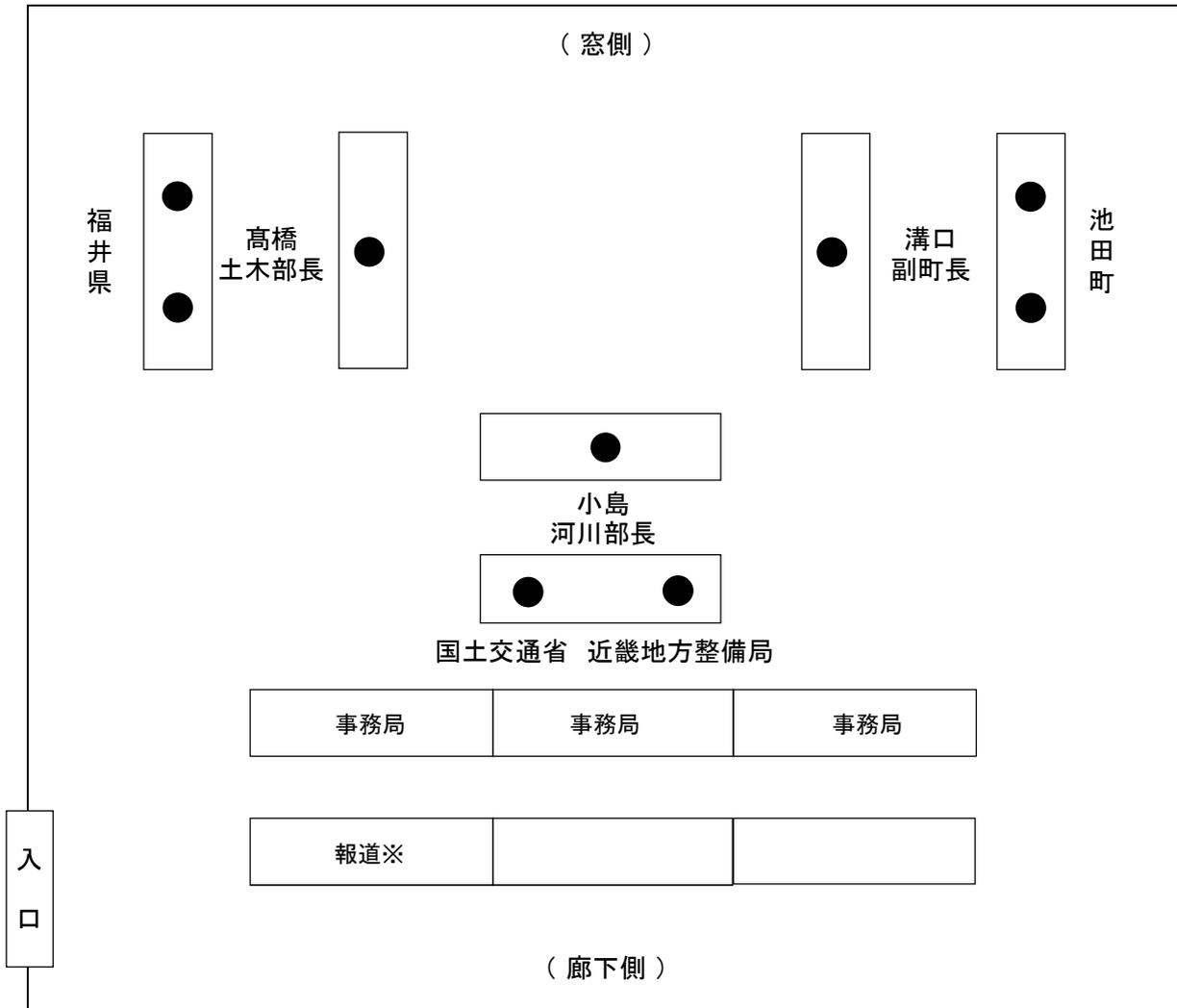
資料1、2 足羽川ダム建設事業の進捗状況

第22回 足羽川ダム建設事業推進協議会(配席図)

令和4年12月13日(火)

12:00 ~ 12:30

福井県庁 2階中会議室



※報道機関は、頭取まで

足羽川ダム建設事業の進捗状況

1. 事業計画

① 工事計画関係

- ・令和4年度予算：約139.2億円。
- ・ダム本体建設工事に着手（令和2年11月）。
- ・ダム本体堤体打設開始（令和4年10月）。
- ・ダム本体、水海川導水トンネル、水海川分水施設関連工事及び付替道路工事等を引き続き実施。

② 環境アセスメント

- ・『足羽川ダム環境モニタリング委員会』により、環境モニタリング計画を審議。
（第1回：平成26年3月14日、第2回：平成27年2月25日、第3回：平成28年3月9日、
第4回：平成29年3月8日、第5回：平成30年3月15日、第6回：平成31年3月14日、
第7回：令和2年3月19日、第8回：令和3年3月18日、第9回：令和3年12月8日、
第10回：令和4年3月18日）
- ・今年度も引き続き、環境調査（モニタリング調査）を継続実施する。

2. 生活再建対策

① 用地補償関係

- ・平成25年8月下旬より、土地、物件調書の確認が終了した地権者に対し、補償金額を提示し、契約締結を開始。
- ・令和3年3月末現在で、家屋の移転を伴う68戸全ての移転を完了。事業用地買収は全体面積の約99%の進捗。
- ・事業認定の告示（令和3年3月16日）。土地明渡し、登記完了（令和4年2月20日）。
- ・今年度も引き続き、未買収地等の補償交渉を実施する。

② 代替地関係

- ・池田町内の集団移転地については、平成26年11月に2戸全ての移転契約を完了。
（平成27年12月に完成）
- ・福井市内の集団移転地については、平成28年7月に6戸全ての移転契約を完了。
（平成30年12月に完成）

③ 公共補償について、平成30年3月に池田町と全ての契約を完了。

3. 地域振興策

- ・第12回足羽川ダム建設推進協議会（平成26年10月17日開催）にて、池田町の地域振興策について、国、福井県、池田町で協定締結。
- ・平成27年3月11日、水源地域整備計画が決定。
- ・令和4年7月19日、地域活性化施策の実施に関する変更協定締結
- ・現在地域振興策が各事業主体により実施中。

4. その他

① 不当要求行為関係

- ・事業の円滑な推進や関係者の安全の確保を図るため、福井県警察本部などの関係機関と連携し「足羽川ダム建設事業に関する不当要求行為等対策連絡会」を開催。
（第1回：平成26年4月22日、第2回：平成27年5月22日、第3回：平成28年5月24日、
第4回：平成29年5月25日、第5回：平成30年6月1日、第6回：令和元年5月24日、
第7回：令和2年8月5日、第8回：令和3年6月24日、第9回：令和4年7月25日）

② 工事現場の安全・衛生・環境保全について

- ・事業区域内で大小様々な規模の工事を重複して進捗している中、工事現場の安全・衛生・環境保全に関する委員会を設立（第1回：平成30年8月22日、第2回：平成30年11月1日、
第3回：令和元年10月25日、第4回：令和2年11月6日、第5回：令和3年12月3日、第6回：令和4年12月8日）。

③ 広報関係

- ・インフラツーリズムの推進

第22回

足羽川ダム建設推進協議会資料

(足羽川ダム建設事業の進捗状況)

令和4年12月13日
足羽川ダム工事事務所



事業の進捗状況について

(足羽川ダム工事事務所)

- 令和4年度は、引き続き事業に必要な用地取得及びダム本体工事、導水トンネル工事、分水施設関連工事及び付替道路工事を実施する。
- 令和3年度までに用地取得の約99%を取得済み。平成30年度に家屋移転は全て完了。
令和3年3月に事業認定の告示。令和4年2月に土地明渡し、登記完了。

(令和4年11月末時点)

用地取得	約99%			
家屋移転	100%			
付替県道	24.2%			
付替町道	16.8%			
ダム本体及び関連工事	転流工 (100.0%)	基礎掘削 (100.0%)	コンクリート打設 (2.3%)	試験湛水
導水施設	導水トンネル (69.1%)	分水施設 (15.7%)		
	※進捗率は、掘削によるもの			

凡例 用地取得 付替工事 本体関連 導水施設

ダム本体関連



ダム本体(下流から上流を望む)

(骨材製造設備)

付替県道

水海川分水施設

導水トンネル



付替県道11号橋



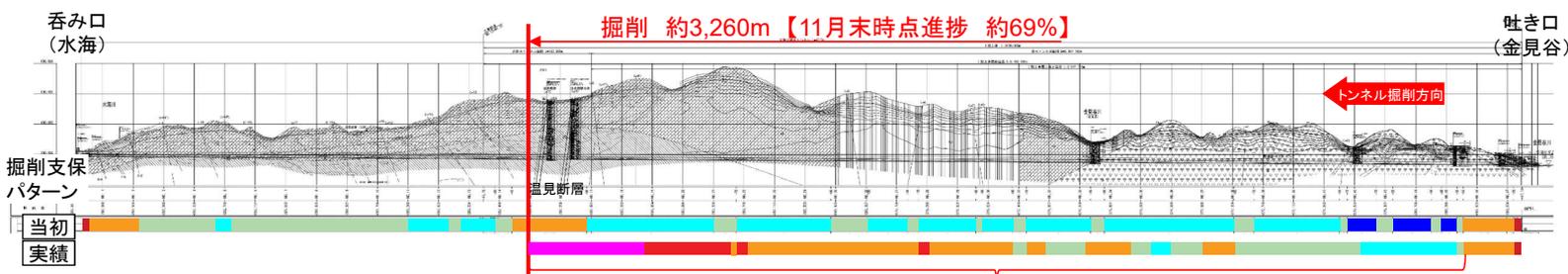
(河床掘削他)



水海川導水トンネル

水海川導水トンネル工事について(進捗状況)

- 切羽面の状況等から令和4年11月に温見断層への到達を確認
- トンネル全延長4,717mに対して、令和4年11月末時点で3,260mまで掘削が進行(約69%の進捗)



○水海川導水トンネル技術検討委員会において、水海川導水トンネルに関する工事に対して、施工の確実性の向上に資するため、委員より技術的な指導、助言を得ている。

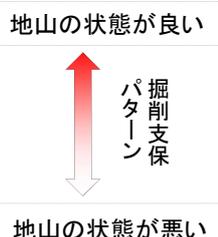
○第4回委員会(令和4年11月1日開催)において、「今後の施工においては、計測や観測を丁寧に行いながら慎重に施工を行い、地山の状況に応じた対策工を適用するという提案された施工方針は妥当である。」との意見を頂く。



委員会開催状況



掘削支保パターン 凡例	
Blue	B
Cyan	C I
Green	C II
Orange	D I
Red	D II
Pink	E



足羽川ダム定礎式の開催について

○足羽川ダムは令和2年よりダム本体工事に着手し、令和4年10月に堤体基礎掘削が完了し、本格的に堤体打設を開始するにあたり、定礎式を開催しました。
 ○定礎式は、足羽川ダムの永久堅固と安泰を祈願して、秋晴れのもと、足羽川ダムサイトにおいて国会議員、知事並びに関係者ご出席のもと、執り行われました。

日 時 : 令和4年11月19日(土)11:00~12:20
 場 所 : 福井県今立郡池田町小畑(ダム建設現場)
 主 催 : 国土交通省 近畿地方整備局
 参加者 : 212名(国会議員、福井県知事、県議会議員、地元首長、市町議会議員、地元地権者、施工業者など)

<p>■式辞</p>  <p>豊田国土交通副大臣</p>	<p>■定礎宣言</p>  <p>渡辺近畿地方整備局長</p>	<p>■工事報告</p>  <p>佐藤足羽川ダム工事事務所長</p>
---	--	---

<p>■来賓祝辞</p>  <p>杉本福井県知事挨拶</p>	 <p>杉本池田町長挨拶</p>	 <p>東村福井市長挨拶</p>	<p>■礎石搬入</p> 
 <p>山崎参議院議員挨拶</p>	 <p>高木衆議院議員挨拶</p>	 <p>滝波参議院議員挨拶</p>	 <p>足立参議院議員挨拶</p>

■定礎の儀

 <p>鎮定(ちんてい)の儀</p>	 <p>斎饗(いみごて)の儀</p>
 <p>斎榎(いみづち)の儀</p>	 <p>埋納(まいのう)の儀</p>



事業を巡る状況の変化について

○令和4年10月にダム本体の基礎掘削が完了し、ダム本体のコンクリート打設を開始したことで掘削量やコンクリート量が概ね把握できる段階になった。
 ○水海川導水トンネルは温見断層に到達し、今後の施工方針について「水海川導水トンネル技術検討委員会」において妥当であることが確認された。
 ○このような事業進捗により、事業の全体像が判明。
 ○また、公共工事関連単価等の変動や働き方改革関連法に基づく労働条件を考慮した 適正な工期の確保など社会的要因の変化が発生。
 ○こうした状況を踏まえ、コスト縮減等の工夫も含め、今後、全体事業費及び全体工期の精査を行うこととする。

